

ガジャ・マダ大学において講義を行いました（2023/3/28）

テーマ：災害対応, 都市・建築デザイン

会場：Gadjah Mada University（ジョグジャカルタ, インドネシア）

当研究所の村尾修教授（国際防災戦略研究分野）は、2023年3月26～28日、インドネシアのガジャ・マダ大学を訪問しました。ガジャ・マダ大学は1949年に設立された、ジョグジャカルタに本部を置くインドネシアの国立大学で、東北大学と大学間協定も締結しています。

村尾教授は、建築学を専攻する学生を対象に「Architecture and Urban Design for Disaster Risk Reduction」と題し、災害対応の都市・建築空間について特別講義を行いました。ジョグジャカルタは、2006年のジャワ島中部地震により甚大な被害を受けた地域でもあるため、災害大国である日本の知恵と経験を活かした防災管理には、学生達からも非常に高い関心が寄せられました。

また、村尾教授とガジャ・マダ大学建築学専攻の Ir. Ikaputra 准教授らは、お互いの研究内容を紹介し、今後の共同研究を踏まえて、災害の多いインドネシアにおける住宅再建について議論しました。

滞在中に、ジャワ島で今後の津波被害が懸念される中部南岸に位置するチラチャップも視察し、近郊の津波リスクが高い地域での津波避難ビルの状況を調査しました。

インドネシア西部では、2004年にもインド洋津波により巨大な被害を受けており、津波避難対策やシェルターの活用等が喫緊の課題となっています。

今後の自然災害に備え、ガジャ・マダ大学関係者と連携しながら、インドネシア国内における被害の軽減とより良い復興に寄与する所存です。



村尾教授の講義案内



講義の風景



全体記念写真



Ikaputra 准教授（右から2人目）との
共同研究打ち合わせ